

# ドライバの取扱説明書

はじめに

本書は、ドライバについて解説したものです。ユーティリティソフト「PenSuite」の使い方については、CD-ROMにあるマニュアルはインストールする時に、一緒にインストールします。

## 1. セットアップの手順

1-1 ドライバをインストールします



1-2 ペンタブレットをパソコンに接続します

**【ご注意】必ずドライバをインストールしてからタブレット本体を接続してください。**

### 1-1 ドライバをインストールします

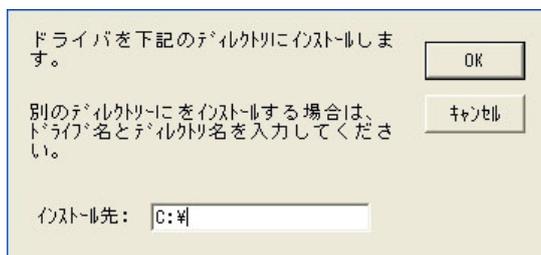
ドライバの入った CD-ROM をお使いのパソコンのドライブ装置にセットします。CD-ROM を挿入直後、自動インストールが始まります。（自動インストールしない場合は、「Setup.EXE」をダブルクリックしてください。）

初期画面が表示されてからインストールを行ってください。

- ・ Driver Install                      ドライバがインストールされます。
- ・ PenSuite                              ユーティリティソフトがインストールされます。
- ・ PIXIA                                  絵描きソフト「PIXIA」がインストールされます。
- ・ PIXIA Tutorial                      PIXIAのマニュアルがインストールされます。
- ・ Exit                                      インストール初期画面を終了します。

### 1-1-1 ドライバのインストール

Driver Install をクリックします。メッセージにしたがってインストールをしてください。



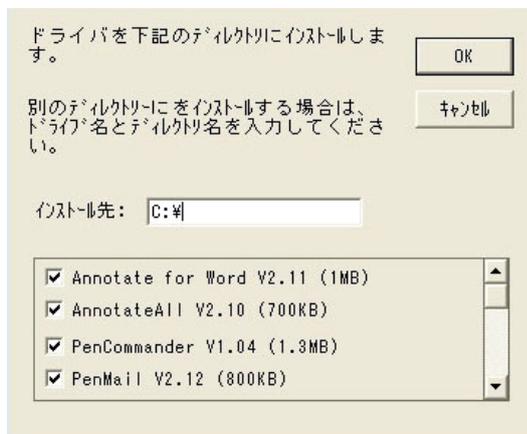
#### ドライバのインストール



#### ドライバのインストール完了メッセージ

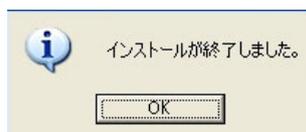
**【ご注意】** ドライバのインストールが完了しました。「OK」をクリックして、再起動してください。

### 1-1-2 PenSuite のインストール



#### PenSuite のインストール

**【ご注意】** インストールしたくないソフトはチェックを外してください。



#### インストール完了メッセージ

1-1-3 PIXIA は、その内容に従ってインストール作業をしてください。

1-1-4 PIXIA Tutorial は、その内容に従ってインストール作業をしてください。

1-1-5 Exit はインストール初期画面を終了します。

### 1-2 ペンタブレットをパソコンに接続します

すべてインストールが完了したら、タブレットをパソコンに接続し再起動します。再起動した後、右下のタスクトレイにタブレットアイコンが表示されればタブレットが利用できます。



#### タスクトレイのタブレットアイコン

以下の手順に従い、ペンタブレットハードウェアとペンタブレットドライバが正しく機能しているのを確認してください。またシステムに問題が発生した場合は、同じ手順で原因を調べることができます。

- (1) ペンタブレットをパソコンのUSBポートに接続します。
- (2) USBデバイスとして認識されるまで、ペンタブレットのLEDランプは点滅します。
- (3) USBデバイスとして認識されると、LEDランプは消えます。
- (4) 画面右下のタスクトレイにタブレットアイコンが表示されます。
- (5) ペン先をプレート上で押している間、LEDランプは点灯します。
- (6) 画面のカーソルがペンの操作に応じて動作すればOKです。

接続した後、ペンタブレット表面でペン先を押したとき、LEDランプが緑色に点灯することを確認します。もし、LEDランプがまったくつかなかった場合は、下の表をご参照ください。

考えられる原因	解決方法
ケーブルがきちんと接続されているか、接続が間違っている。	もう一度きちんと接続し直してください。別のUSBポートがある場合は代えてみてください。USBポートの接触不良も考えられます。
USBポートの消費電流が大きすぎる。	他のUSB周辺機器を外してください。
電池が消耗している。	コードレスペンの電池を交換してください。
コードレスペンがバッテリー電源節電のため、スリープモードになっている。	ペン先をプレート上でクリックして、スリープモードを解除してください。

### 1-3 ドライバをアンインストールします

Windows画面の左下に位置している[スタート]メニューからプログラム名を選択して [アンインストール]を起動します。アンインストール画面になりますので、メッセージにしたがって、作業をすすめてください。再起動をすれば、アンインストール作業が完了します。

**【ご注意】最新版のドライバをインストールする時は、必ず、古いドライバをアンインストールしてください。**

## 2. PenLauncher の設定

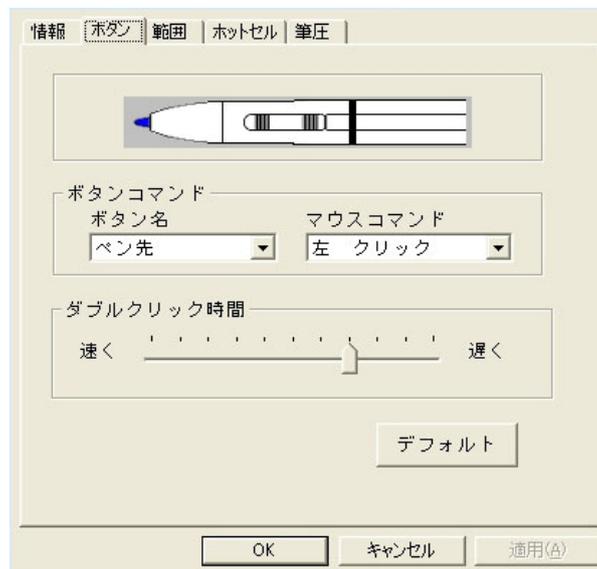
Windows 画面の左下に位置している[スタート]メニューからプログラム名を選択して [PenLauncher]を起動します。ペン先やバレルボタン機能の変更、ワークエリアのサイズや位置調整を行うことで、ペンタブレットをより使いやすく設定することができます。

**【注意】** ペンをダブルクリックする際に、ペン先をペンタブレットプレート上に置いたままにするか、またはダブルクリックで二回目にプレートをたたいた後に、なるべくペン先をプレートから離さないようにすると、より良い効果が得られます。

2-1 [情報]タブ 現在のドライバのバージョン情報が表示されます。

### 2-2 [ボタン]タブ

ペン先やバレルボタンの機能を変更する際に、このボタンタブを開きます。タブは以下のように表示されます。



[ボタン]タブ

#### ・ボタンコマンド

[ボタン名]と[マウスコマンド]の選択により、マウスコマンドの左クリック、左ダブルクリック、右クリック、右ダブルクリック、ミドルクリック、ミドルダブルクリックなどの役割を割り当てます。

#### ・ダブルクリック時間

ペン先（またはバレルボタン）を二回続けて押すダブルクリックの動作が遅い場合は、スピードバーを`遅く`の方に移動させてください。逆に速い場合はスピードバーを`速い`の方に移動させてください。

#### ・デフォルト

このタブにある全ての設定をペンタブレットドライバがインストールされた当初の初期設定に戻したい場合は、このオプションを選択してください。

## 2-3 [範囲]タブ

ペンタブレットプレート上のワークエリアサイズや位置を設定する際に、この範囲設定ページを使います。ペンタブレットプレート上のワークエリアとは、筆圧を感知できる範囲のことを指します。この設定ページで設定を行う際に、ペンがワークエリアの真上にない場合、設定はシステムによって無視されます。



[範囲]タブ

- ・ペンタブレット全体

ワークエリアを最大サイズに設定します。

- ・スクリーン比率

ワークエリアの幅または高さを調整して、ワークエリアと実際画面の比率を同様に設定します。

- ・エッジ設定

ワークエリアを最大に設定した後に、四辺を指定された長さに変更します。

- ・ワークエリア範囲

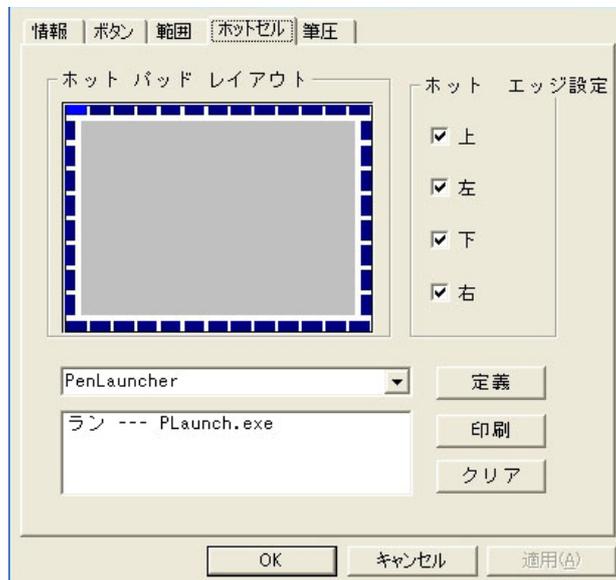
変更されたワークエリアの幅と高さを表示します。また、ここに直接数値を入力し、サイズ変更を行うこともできます。

- ・ワークエリアオフセット

ペンタブレットプレートの右上端から左上端までのワークエリアの距離を表示します。また、ここに直接数値を入力し、サイズ変更を行うこともできます。

## 2-4 [ホットセル]タブ

ペンタブレットプレート上のホットセル数を設定する際に、このホットセル設定ページでホットセルをタップして設定を行うことができます。ホットセルとは、ワークエリア上の指定エリアのことを指します。



[ホットセル]タブ ※機種により設定画面が異なります

### ・ホットパッドのレイアウト

各青色の四角形でホットセルを設定できます。

### ・ホットエッジ

ホットエッジを選択すると、最大ワークエリアは自動的に縮小され、また、ホットエッジを選択しないと、ホットセルの機能はオフになります。

### ・定義

これは、選択したホットセルを押した時、何を行うかを定義するボタンです。定義ボタン左側の文字は、現在選択されているホットセルのラベルを表しています。

**【ご注意】**ホットセルの中には、インストールした際に修正が行えないようになっているものがありますのでご注意ください。これらのアクションやラベルを変更することのできないホットセルは、灰色の定義ボタンもしくは灰色のラベルとして表示されます。

### ・印刷

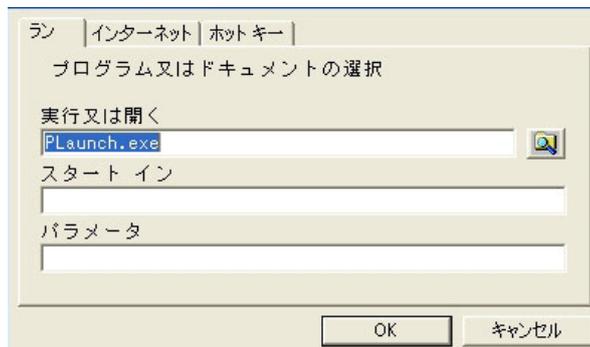
このボタンを押すと、現在のホットパッドレイアウトに表示されている画像が、システムで設定したプリンターで印刷されます。

### ・クリア

定義内容を削除したい場合、このボタンを押してください。

#### 2-4-1 ホットセルの定義—[ラン]タブ

このページでは、ホットセルを押した際、実行した文章やプログラムを指定します。

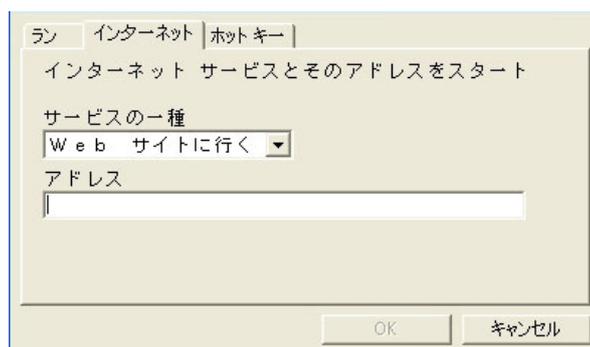


#### ホットセルの定義—[ラン]タブ

- ・実行又は開く 実行したいファイルの選択は、右側のブラウザボタンを使用するか、パス名とともにファイル名を入力します。ホットセルのタップ機能として、ウィンドウのエクスプローラー上で選択したいファイルをダブルタップすると、プログラムの場合は実行され、そのファイルがドキュメントなら関連づけられているアプリケーションが起動します。
- ・スタート イン プログラムが起動されたときの初期フォルダーです。
- ・パラメータ ここに入力された文字は、パラメータとしてプログラムに送られます。  
※プログラムによりご利用できない場合があります。

#### 2-4-2 ホットセルの定義—[インターネット]タブ

このタブでは、ホットセルを押してインターネットの設定が行えます。

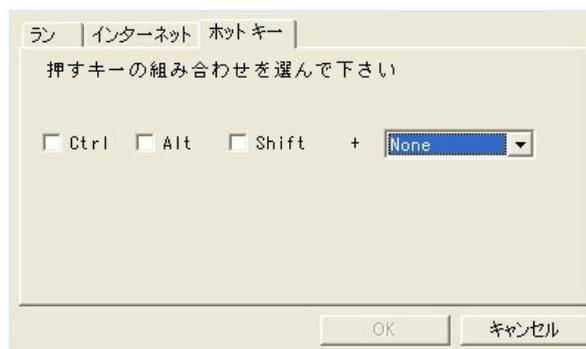


#### ホットセルの定義—[インターネット]タブ

- ・サービスの一種 ホームページを見たり、メールを送ったりなどの使いたいインターネット機能を選択します。初期プログラムは（ブラウザなど）はシステム設定によって異なります。
- ・アドレス ホームページやメールのアドレスなど、選択した機能用の URL アドレスを指します。

### 2-4-3 ホットセルの定義—[ホットキー]タブ

ここでは、ホットセルを押して、キーの組合せを指定することができます。



#### ホットセルの定義—[ホットキー]タブ

- ・ キー組合せの選択      アルファベットキーやコントロールキーと Alt キー、シフトキーなどを自由に組み合わせることができます。

**【ご注意】** Ctrl+N、Ctrl+O、Ctrl+S、ALT+F4 をサポートしていないアプリケーションではきかない場合があります。

## 2-5 [筆圧]タブ

筆圧感知機能が正しく作動しているかを確認し、調整を行うには、筆圧設定タブを使います。筆圧感知式ペンは、ペン先に力を加えることにより、より太い線や黒い色の線を描くことができます。このためには、お絵描き用のアプリケーションが Wintab コンパチブルドライバが正しくシステムにインストールされている必要があります。筆圧設定タブは以下のように表示されます。



[筆圧]タブ

### ・筆圧テスト

ここで、ペンの圧力を試してください。

ペンタブレットプレートで、軽い力で線を描いてみると細かい線で描画されます。また、より強い力で描くと太い線で描画されます。もっとテストしたい場合、色を選択して行ってください。

ラインなどを描いている際、ペン先に加えられている圧力は右側のパラメータに表示されます。また、同時にこの圧力レベルがクリアボタンの右上に数値で表示されます。

### ・クリア

描いた線を消すためには、クリアボタンを押してください。

### ・感知度

この機能は、選択を行う際、マウスのかわりにペンを押させるものです。ペン先を押させると、軽い力で押した時にもこの機能を使用したい場合は、感知度バーを`軽さ`に近づけてスライドさせ、また、強い力で押した時に使用したい時は、バーを`重さ`にスライドさせてください。この感知度バーは、強い力でラインを描いた時により太い線を表示させる機能とはまったく関係ありませんのでご注意ください。